キャリア支援通信
～架け橋～高等部　第４号

長良特別支援学校
キャリア支援部
令和７年９月８日

「キャリア支援通信～架け橋～」では、キャリア教育に関する学校の取組や情報を発信しています。キャリア教育は、日々の学校生活や家庭生活等の中で、生徒の個性や生活年齢に合わせ、小学部１年生から少しずつ継続して積み重ねられていきます。そして、高等部においては、「卒業後の自分の姿や目標」「社会とのつながり」「自分らしさを発揮すること」をイメージしながら、課題に取り組んでいます。

今回は、キャリア教育の視点から高等部の授業における取組や各福祉サービス等の利用の実際についてご紹介します。

なお、小学部と中学部の取組については、ホームページで紹介していますので是非ご覧ください。

キャリア学習の取組（１組）

１組では「産業社会と人間」の時間に、校外学習やキャリア実習についての事前学習や事後学習を行っています。（６・７月号で紹介）

また、高等部卒業後の進路に向けて、働き方について調べたり、どんな職業があるか職業について調べたり、自分がどんな職業に向いているかについて考えたりしています。

その中で、『ハローワークゲーム』を使って、いろいろな職業について調べたり、自分がやってみたい職業は本当に自分に合っているか、自分にできるかについても考えたりしています。

校内販売会（２組）

７月１５日（火）に、２組の教室で２・３組校内作業製品販売会を行いました。

高等部２組には、週２回３時間ずつ作業学習の時間があります。販売に向けての製品作りだけでなく、ポスターや値札、商品取り扱い説明書等の準備もしてきました。

扱う製品は、手提げバックや肩掛けバッグ等の布製品、レジンを使ったアクセサリーやペン、ペーパーウェイト、受注生産の名刺等多くの種類を扱っており、今年度最初の校内販売会では、先生方を中心に多くの方に買い物に来ていただいたり、校内の生徒が見学に来たりと大賑わいでした。

製品の説明や案内、購入品の袋詰めや受け渡し等、いつもの作業学習では経験できない貴重な経験をすることができました。自分たちが作ったものでお客様が喜んでくださることも実感でき、大変貴重な時間となりました。

キャリア実習（３組）

６月１７日（火）～１９日（木）の３日間、SANEI 株式会社より製品をお借りして校内作業実習に取り組みました。３組の作業内容はキャップを１００個数えて袋に入れる作業です。振動モーターとスイッチを使用して専用の電子はかりに入れて数を数えました。まずは左手でゆすってたくさんはかりに入れ、目標の数に近づくと、スイッチをこまめに動かして１個ずつ入れたりして工夫しながら取り組めていました。指定した数になると「できました」と伝えたり、多く入り過ぎた場合には「〇個多いです」などと的確に相手に伝えたりすることができました。用意していた５０００個全て数えることができ、自信にもつながる良い機会となりました。

キャリア学習の取組（４組）

スイッチを活用し、自分の思いや感情を相手に伝える取組をしています。例えば、音声を録音したスイッチを押すことで「ありがとう」「おはよう」などの気持ちや挨拶を表現する場面や、光るボールをタッチして表情を豊かにしていくことなどを日頃の活動から多く設定しています。このような活動を通して、自分の思いを伝える喜びを感じるとともに、相手との関係性を築く力を育んでいます。４組の取組は「自分らしい表現方法を見つける力」や「社会とのつながりを意識する力」を育てる重要なステップになっています。社会に出ても、自分の思いを相手に伝える力は必要になっていきます。自分なりの方法で気持ちを伝える経験を積むことで、自己理解を深めるとともに他者との協働を学ぶ貴重な機会となっています。

交流学習での取組（５組）

５組が他学級の仲間と行っている交流学習を紹介します。

★e スポーツ大会にチームで挑む

３組と５組の３年生３名がチームになり、「プロロ」に参戦しました。「一緒にやろう！」「チーム名を決めよう！」など、動画でやり取りしながら取り組みました。

★校外学習でミッション発動

校外学習に出かける仲間へ「金華山と長良川の映る写真を撮って来て」「お土産は何を買ってきたか教えて」等のミッションを出しました。仲間の校外学習を機会に、岐阜のことの勉強をし、仲間が見てきたことを教えてもらいました。見学先である長良川うかいミュージアムにちなんで５組全員が鵜匠の衣装制作に取り組む活動もしました。

★作業製品販売会で買い物学習

学校とオンラインでつながり、２組の作業製品販売会に参加しました。商品を見て、仲間とやり取して予算ピッタリの買い物をしました。

その他にも、部集会、同じ教材やテーマでの学習等、学習の場が違っても互いにかかわりあいながら学習することを大切にしています。